

掛川市茶振興計画中間見直し

生産者アンケート結果

～基本集計編～

【調査時期】 令和3年9月

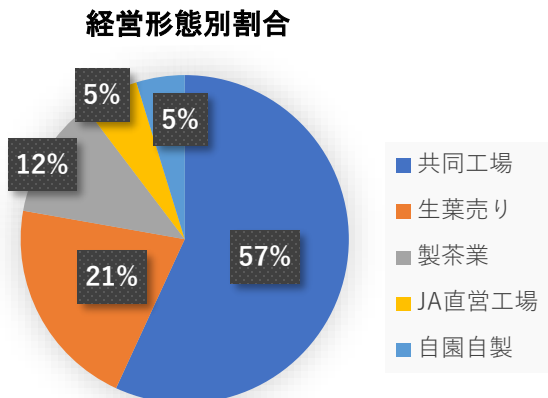
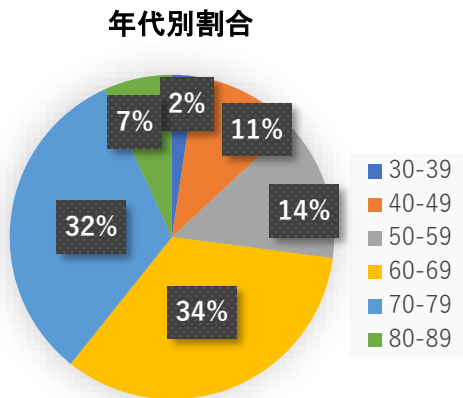
【配布数】 516

【回収数】 380

【回収率】 74%

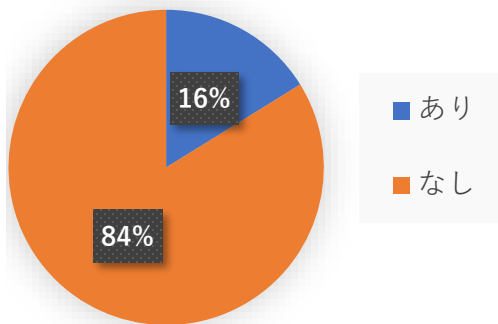
1 経営主、経営形態について

- (1) 平均年齢 64.4歳
(2) 最高年齢88歳 最少年齢32歳 (回答数336/380)



2 農業従事者について

- (1) 農業従事者（家族従事者） 2.01（人）
(2) 後継者の有無



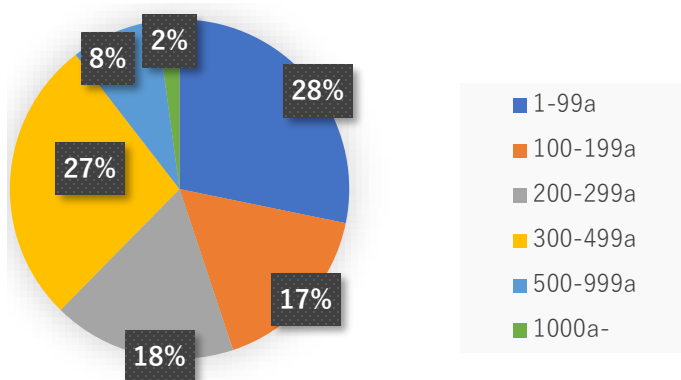
- (3) 常時・臨時雇用
常時雇用 2.86（人）
臨時雇用 2.53（人）

3 経営面積について

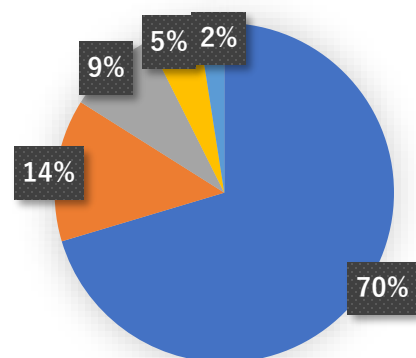
- (1) 茶園経営面積
合計面積 1,001 ha (所有地432 ha / 借地546 ha)
うち乗用型摘採面積 895 ha (89%) うち市外面積 76 ha (8%)

※未記入者もいるため合計が合わない場合があります。

経営面積別割合

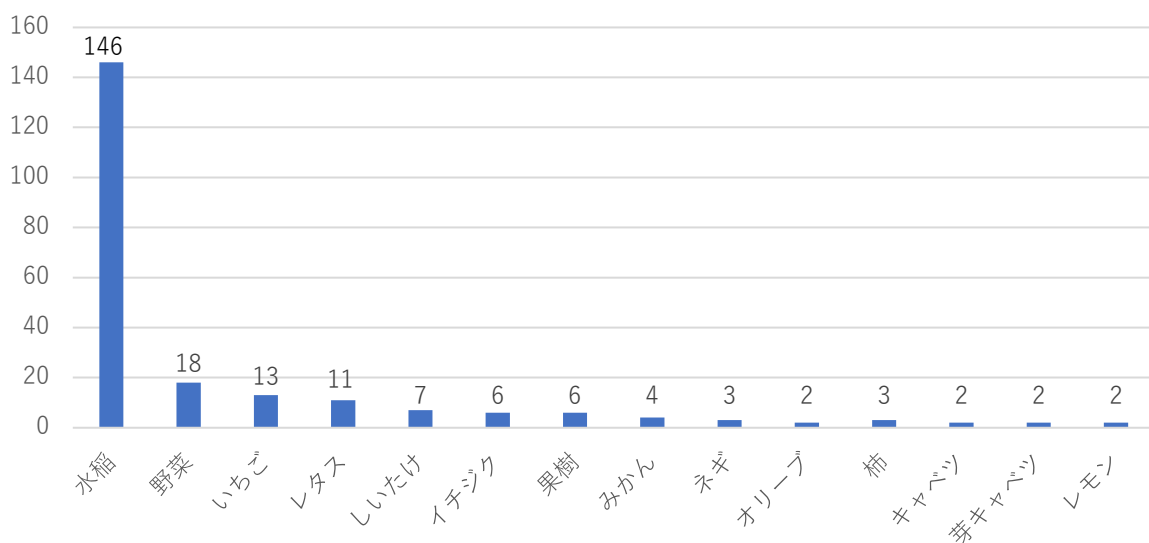


市外面積割合



(2) 1経営体当たりの適正な経営面積（平均値） 350.7 (a)

(3) その他の作物の生産者数

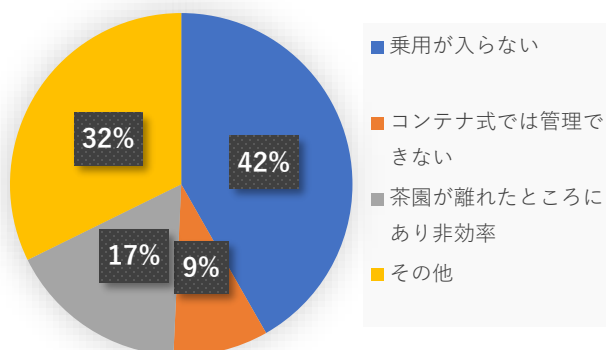


4 耕作放棄茶園について

(1) 耕作放棄茶園面積 5,136 a (回答数174/380)

(2) 5年以内に耕作放棄になりそうな茶園面積 9,065 a (回答数194/380)

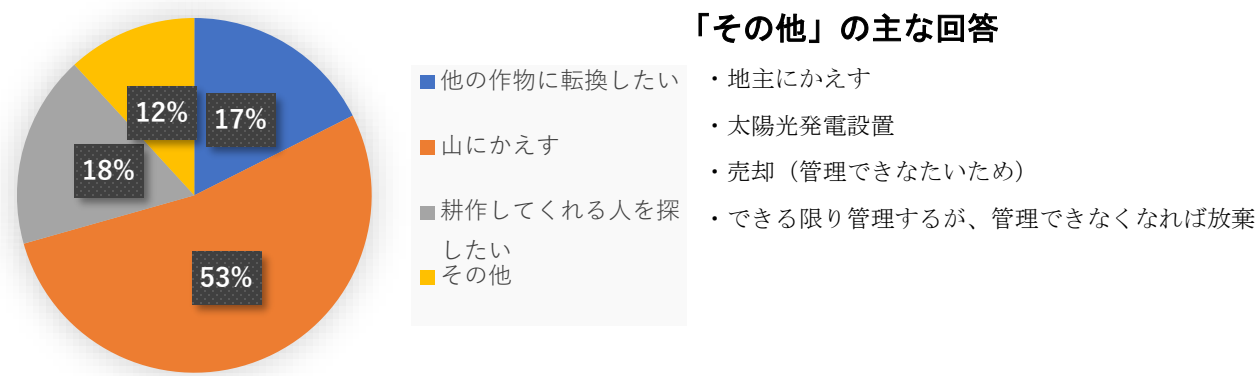
(3) 耕作放棄地になっている要因・理由



「その他」の主な回答

- ・乗用は入るが茶園形状が悪く急傾斜地であるため危険
- ・周囲が草地のためササが入り込み管理が追い付かない
- ・管理しても収益が上がらず採算が合わない
- ・後継者不在、年齢、体力的問題
- ・獣害による法面崩れ等

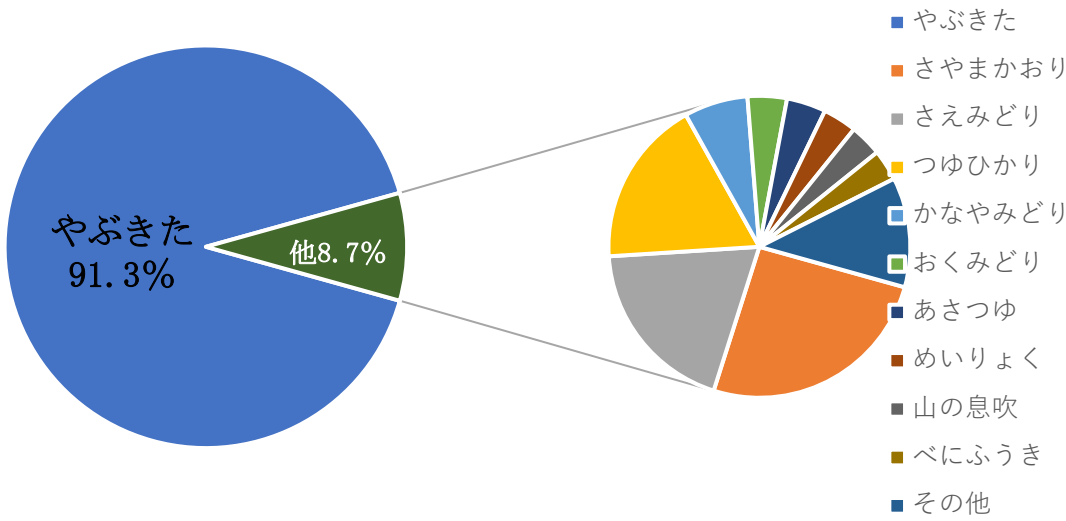
(4) 耕作放棄地をどのようにしたいと考えますか？



5 乗用型茶園管理機の所有台数について

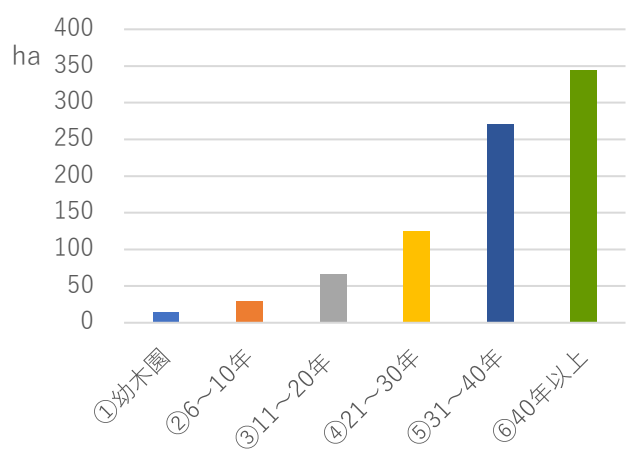
機械種類	乗用型摘採機 (袋交換式)	乗用型摘採機 (コンテナ式)	乗用型 防除機	乗用型 施肥深耕機	乗用型 中刈機
個人所有	合計 294 台	合計 80 台	合計 37 台	合計 11 台	合計 29 台
	回答 261 人	回答 75 人	回答 36 人	回答 11 人	回答 29 人
	平均 1.126 台	平均 1.067 台	平均 1.028 台	平均 1 台	平均 1 台
共同所有	45 台	6 台	9 台	11 台	49 台
	125 人	6 人	19 人	34 人	313 人
	台当たり共同人数 2.78 人	台当たり共同人数 1.00 人	台当たり共同人数 2.11 人	台当たり共同人数 3.09 人	台当たり共同人数 6.39 人

6 茶栽培品種について

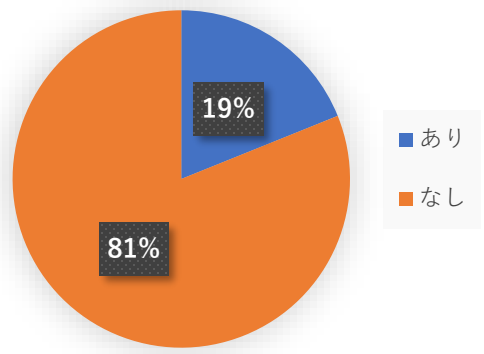


7 茶園改植の実施状況について

(1) 樹齢別茶園面積



(2) 改植の意向



(3) 改植を行う上での課題や提案

- 【課題】
- ・現在の茶価では、改植に見合った利益が得られる見込みがない。
 - ・傾斜地のため作業が困難。除草が大変。
 - ・改植期間中（幼木期間）に収入が見込めない。
 - ・改植に手間と費用が掛かりすぎる。
- 【提案】
- ・小規模経営者にも補助事業の情報が届くようにしてほしい。
 - ・代替地の用意等で計画的な改植の実施
 - ・改植中の収入補填や苗代・重機レンタル代等の補助改植応援隊の組織化
 - ・やぶきた品種以外の導入

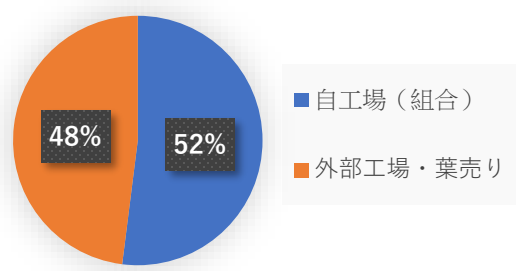
8 被覆栽培の実施状況について

(1) 被覆栽培面積 2,157.3 (a) (回答数 75/380)

9 てん茶製造の取り組みについて

(1) てん茶用茶園面積 2,192.7 (a) (回答数21/380)

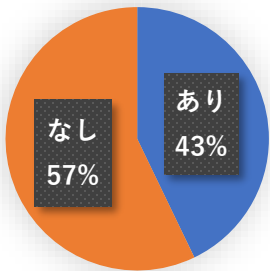
(2) てん茶製造場所



10 有機栽培の取り組み状況について

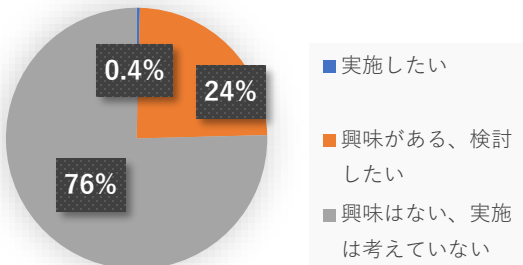
(1) 有機栽培面積 1,630 (a) (回答数22/380)

(2) 有機栽培拡大の意向



拡大面積合計 723 (a) (回答数9/21)

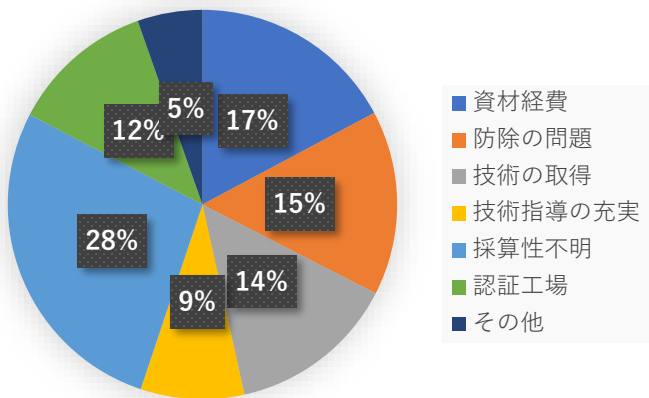
(3) 有機栽培についての考え



「興味はない、実施は考えていない」の主な理由

- ・品質の低下
- ・後継者不在、年齢、体力的問題
- ・手間が掛かるわりに採算性が不明
- ・荒茶販売先からの要望がなく実施する理由がない
- ・病害虫の問題、周囲の慣行茶園に迷惑をかける
- ・知識がない

(4) 有機栽培を実施、拡大するうえでの課題



「その他」の主な課題

- ・栽培にかかる経費や時間と採算性のバランス
- ・防除や除草が大変
- ・やぶきた以外の病害虫に強い品種に改植する必要がある

11 耕作をやめた茶園に対する提案（飛び地での非効率な茶園管理、茶園集積等）

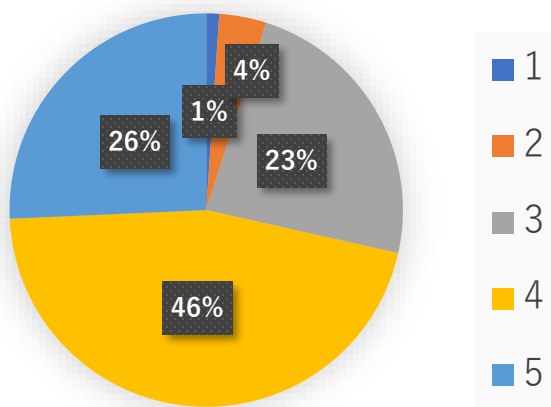
- 助成を出す。行政や農協が耕作放棄茶園をまとめ、造成する。
→補助事業化
- 中心的人物や組織に集約させる。手放す／借りる人をつなげる仕組みづくり
→組織化
- 野菜を作る。山に返す。
→転換
- 利益が上がる茶業にすれば、やる人が増える。
→茶価の上昇
- 地権者と生産者間の仲介者を設置
→地権者との調整
- 農道確保・機械化
→ハード整備

12 現在の経営状況について

(1) 経営状況について

※1...良い・安定している

5...悪い・直ぐにでも茶業をやめたい



(2) 一反当たりの売上、経費、収入（平均値）

売上 240,870円

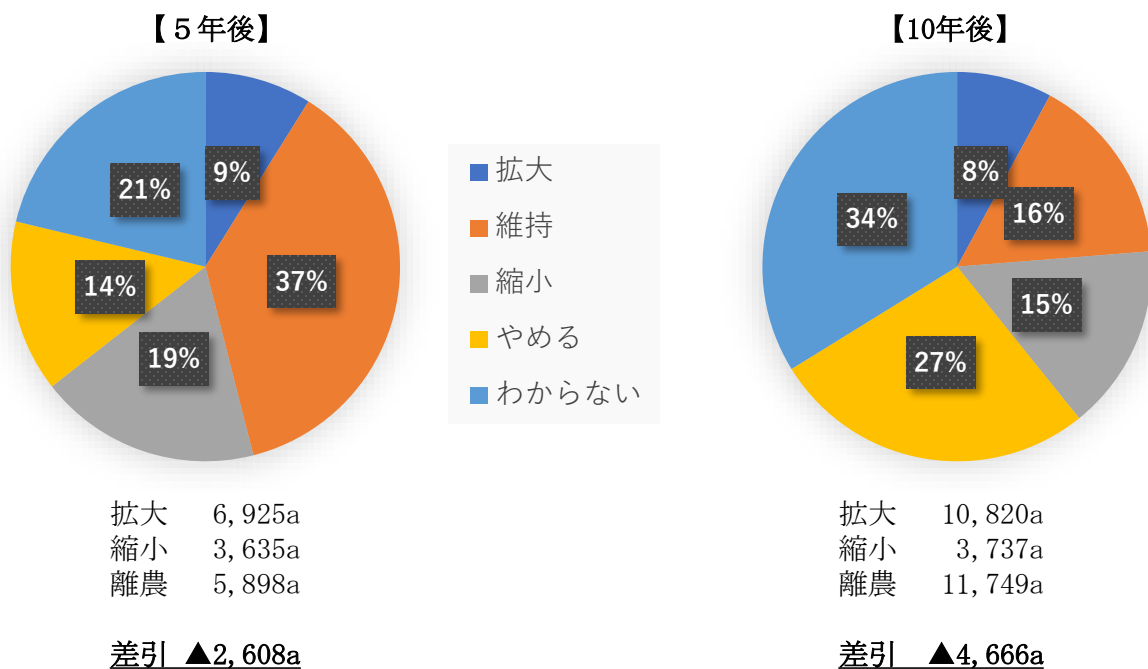
経費 163,637円

収入 77,071円 ※それぞれ全体の平均値

(3) 一反当たりの理想の売上（平均値）

売上 361,150円

13 5年後、10年後の経営状況見込みについて



14 収益を向上させるために取り組んできたこと

- GAP認証の取得・共同化・圃場整備。

→環境整備

- 被覆栽培。栽培計画の見直し。品種別製造

→品質向上

- 他作物の栽培・転換

→複合経営

- ホームページ作成。小売り拡大。輸出対策。茶商のニーズに対応

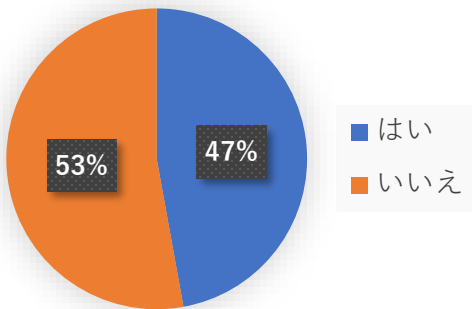
→販売促進

- てん茶生産

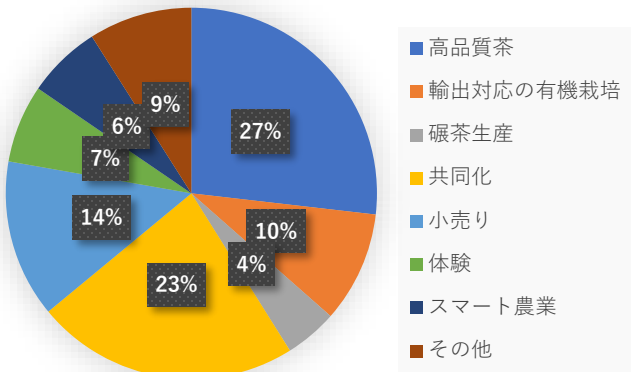
→新技術導入

15・16 新たなことへの挑戦について

新たなことにチャレンジして
いきたいと思いますか？



どのようなことにチャレンジして
いくべきだと思いますか？



17 行政や農協との協同による将来ビジョンの検討について

行政や農協などと協力して、将来ビジョンについて
検討・協議していきたいと思いますか？

